

日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて
-日本の近代化を導いた人々の思想と行動、その光と影を追う-

世界の中の日本。科学文化の諸相に彼我の風土の違いを発見した人物
(Part II 科学・技術分野)

小野蘭山と

日本のナチュラルヒストリー

講師： **岩槻 邦男**先生

【講演要旨】

小野蘭山は享保14(1729)年に生まれ、文化7(1810)年に没した本草学者、「日本のリンネ」などといわれることもある。25才で京都に私塾衆芳軒を開き、多数の門弟のうちには杉田玄白、飯沼慾斎、谷文晁などの著名人の名も見られる。中国本草学の集大成といわれる李時珍の『本草綱目』にもとづいて日本の本草1882種をまとめた『本草綱目啓蒙』48巻を、75才になって脱稿した。日本のナチュラルヒストリーの歴史のうちで蘭山が占める位置を考察し、その後の文明開化の時代に及ぼした影響をたずねる。

中国の本草学を取り入れた深根輔仁(898~922)の『本草和名』がすでに日本風の修正を施していたが、日本における自然の記述は『万葉集』などの古典からも直接に受け取ることができる。平和が続いた江戸時代には、貝原益軒(1630~1714)に始まるナチュラルヒストリーの健全な発展があり、西欧の進んだ自然史研究の成果が、蘭学や洋学の名で、キッチリ取り入れられていた。

飯沼慾斎(1782~1865)や伊藤圭介(1803~1901)から、東京大学が創設され、やがてイチョウの精子の発見などの成果につながる近代科学の日本での発展を、西欧との対比で考えてみたい。

【講師略歴】

1934年兵庫県生まれ。東京大学名誉教授、人と自然の博物館名誉館長。専門は植物学。主要著書：『Flora of Thailand』第3巻(1979~89、Bangkok、共著)、『日本絶滅危惧植物』(1990、海鳴社)、『Flora of Japan』1~4巻(1993~、講談社、共編著)、『植物からの警告—生物多様性の自然史』(1994、日本放送出版協会)、『シダ植物の自然史』(1996、東大出版会)、『文明が育てた植物たち』(1997、東大出版会)、『温暖化に追われる生き物たち』(1997、築地書館、共編著)、『生命系—生物多様性の新しい考え』(1999、岩波書店)、『日本の植物園』(2004、東大出版会)、『生命のつながりをたずねる旅』(2012、ミネルヴァ書房)など。日本学士院エジンバラ公賞(1994年)、文化功労者(2007年)、Allerton Award(2010年)、コスモス国際賞(2016年)など。

日時： 2016年 **12月16日(金)** 18:00~ 20:30

会場： **公益財団法人国際高等研究所**

参加費： **2,000円** (交流・懇談会費用を含む)

定員： **40名** (申し込みが定員を超えた場合は抽選)

申込： 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします

詳細： <http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>

しめきり

12月14日
(水)
必着

IIAS 公益財団法人
国際高等研究所
International Institute for Advanced Studies

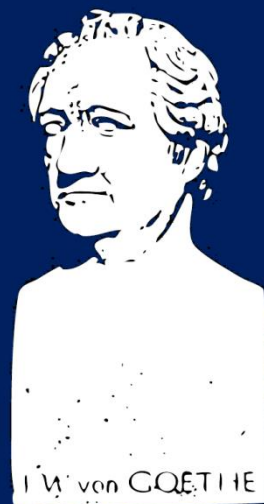
ゲーテの会とは・・・

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都市の将来について一緒に考えてみませんか。

第42回

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ

ゲーテの会



J. W. von GOETHE

参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

公益財団法人国際高等研究所

けいはんな「ゲーテの会」事務局

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第42回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2016年12月16日(金)開催		
お名前		
ご所属		
部 署		
役 職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

